

第2回 災害対応ロボット技術開発研究会 開催報告

県内外20の企業・団体から、計22名の参加を得て、第2回研究会を開催しました。

- 日時 平成28年10月26日（水）13:00～14:30
- 場所 武生商工会館 パレットホールC
- 内容
- （1）会員によるドローン研究事例の報告（㈱原子力エンジニアリング）
 - （2）ドローン研究開発の提案（県総合政策部電源地域振興課）
 - （3）意見交換
 - （4）事務局からのお知らせ
- （一社）ミニサービヤーコンソーシアムとの連携

○協議概要

研究会前半では、当研究会の会員である㈱原子力エンジニアリングより「屋内用防災ドローンに関する研究事例」を報告いただきました。

研究を進める上で、大地震後のビル内、地下街などの屋内・閉鎖空間において速やかに展開・情報収集でき、かつ、使い捨てても惜しくない低価格のドローンを目指したことなど、開発の経緯について説明がありました。

また、飛行試験などの結果を示しながら、試作1号機での課題（機体の耐久性、飛行時間の延長など）や試作2号機の改良点について紹介がありました。

その後、実際の試作機を用いて、機体制御システム（地上局、フライトコントローラ）や機体搭載センサ（慣性計測センサ、障害物検知センサ）などの説明があり、会員からの質疑も行われました。



㈱原子力エンジニアリングによる説明



試作機に関する説明・質疑

県からは「ドローン研究開発の提案」と題して、今後の災害調査用ドローン開発については、㈱原子力エンジニアリングの試作機を参考に、災害時における建屋内の状況調査、線量測定、あるいは、クローラロボットや他機体の無線中継に活用できる「空陸両用型ドローンおよび搭載機器」を開発していくという提案がありました。

今後の進め方については、（1）開発に先駆け、技術課題解決のための可能性調査を実施し、（2）改良点を抽出し、独自仕様を策定・設計、（3）㈱自律制御システム研究所などの協力・助言のもとで試作開発、改良を進めていく案が示されました。



県によるドローン研究開発の提案

さらに後半は、研究開発に関する意見交換を行い、参加者からは研究会の活動やドローンの開発・活用に関するご意見をいただきました。（以下は、当日の意見交換とアンケートにおける会員の主なご意見です。）

- ・開発への協力を検討したい。
- ・メーカーとしてこういった研究提案ができるか考えたい。
- ・ユーザーの立場から助言していきたい。
- ・開発に関する詳細な情報がほしい。
- ・新しい技術を情報として取り入れていきたい。
- ・幅広いドローン開発・利用の紹介があると有効。

会員のご意見は今後の研究会活動に反映させていただきます。

【研究会に関するお問合せ】

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター 産業育成部

〒914 - 0192 敦賀市長谷 64 号 52 番地 1

Tel : 0770-24-7276 e-mail : sangyo@werc.or.jp

【ホームページに関するお問合せ】

公益財団法人ふくい産業支援センター オープンイノベーション推進部

〒910 - 0102 福井市川合鷺塚町 6 1 字北稻田 1 0 （福井県工業技術センター内）

Tel : 0776-55-1555 e-mail : foip@fisc.jp